

令和5年第3回市議会定例会一般質問

1 日 時 令和5年(2023年)9月6日(水) 午前9時30分
令和5年(2023年)9月7日(木) 午前9時30分

2 質問者(質問順)

- | | | |
|---------------|-----|-------------------------------|
| (1) 新緑水クラブ | 80分 | (1 富田博巳、2 磯部秋廣、3 成田佳勉、4 井上正人) |
| (2) 市友会 | 20分 | (5 工藤政明) |
| (3) 公明党 | 60分 | (6 井上純一、7 蓑手純一、8 石丸喜久雄) |
| (4) 日本共産党議員団 | 40分 | (9 加藤典子、10 坂 ゆかり) |
| (5) 子どもたちに青い空 | 20分 | (11 村瀬進治) |

3 質問事項、要旨及び項目

質 問 者	1 富田博巳議員（新緑水クラブ）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 マイナンバーの現状について	1 マイナンバーと健康保険証の紐づけの誤り等を受け、国が実施しているマイナンバー総点検の中間報告の公表を踏まえ、本市におけるマイナンバーの現状等について問う	(1) マイナンバーと健康保険証の紐づけの誤り等により、当該制度を不安に思う市民がいると考えるが、市としてどのような方策を講じているか (2) マイナンバーカードの自主返納の件数はどのようなようであるか (3) 本市及び近隣4市のマイナンバーカード交付率はどのようなようであるか。また、交付率を上げるためにどのような取組を行っているか (4) マイナンバーカードによるコンビニエンスストア等における証明書等の交付数の推移はどのようなようであるか (5) マイナンバーカードに格納されている電子証明書の更新が5年で必要となるが、市民への周知をどのように行っているか (6) 庁舎1階にあるマイナンバーカードをかざして住民票等の証明書を発行する窓口受付端末機について、どのような利用促進策を行っているか	
2 小中学校の出前授業・姉妹都市交流について	1 小中学校の児童生徒1人1台端末が導入され、間もなく2年半が経過する中、ICT環境を活用した企業等による出前授業の実施状況や今後の姉妹都市交流事業のあり方等について問う	(1) 児童生徒1人1台端末の導入前と比べ、ICT環境を活用した企業等による出前授業の実施状況や内容の相違点はどのようなようであるか (2) 本市の基幹産業である鉄鋼業に関する児童の工場見学について、コロナ禍においてICT環境を活用した企業による出前授業を実施した学校が多くあったと聞くが、実施状況はどのようなようであったか (3) 令和5年度における鉄鋼業に関する工場見学について、実施状況はどのようなようであるか (4) コロナ禍に実施したICT環境を活用した姉妹都市交流事業の実施状況及び、その効果を踏まえた今後の交流事業のあり方をどのように考えているか	

<p>3 社山北地区計画地域内の生活基盤等について</p>	<p>1 加木屋町の社山北地区の宅地造成が完了し、住宅の建築工事等が進められているが、当該地区の各種生活基盤に関する整備見込み等について問う</p>	<p>(1) 住宅地の販売スケジュール並びに購入者の世帯状況及び居住人口をどのように想定しているか (2) 小中学校の学区はどのようになるのか。また、住宅地販売完了を見据えた学校施設への影響をどのように想定しているか (3) 建設が予定されている民間保育所の定員等の概要及び現在の進捗状況について、市としてどのように把握しているか (4) 商業施設の立地について、市としてどのように把握しているか (5) 町内会又は自治会の設立や、その活動拠点となる集会所整備に関するスケジュールについて、市としてどのように把握しているか (6) 投票所はどこになるのか。また、周辺の中ノ池地区・社山地区を含め、投票区を見直す考えはあるか (7) 雨水は横須賀新川に流入することとなるが、周辺の浸水対策及び河川整備をどのように考えているか</p>	
<p>4 生活環境対策について</p>	<p>1 市内南部地区の降下ばいじんの状況及び臨海部企業による降下ばいじん対策等について問う</p>	<p>(1) まなぶん横須賀、養父児童館・養父健康交流の家及び養父町公民館における直近の降下ばいじん量はどのようであるか (2) 臨海部企業の設備投資による直近の降下ばいじん対策について、市としてどのように把握しているか</p>	

質 問 者	2 磯 部 秋 廣 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 浸水対策について	1 地球温暖化による気候変動を原因とする集中豪雨が心配されている。本市でも平成12年の東海豪雨では大きな被害を受けたが、その後の浸水対策について問う	(1) 東海豪雨後の浸水対策の進捗状況はどのようなか (2) 今後の浸水対策の課題と取組内容はどのようなか	
	2 大雨等発生時に市職員を招集する非常配備体制について問う	(1) 過去5年間の非常配備体制を敷いた回数は何回か (2) 東海豪雨では、市内の多くの箇所で道路冠水が発生し、非常配備体制に伴う市職員の市庁舎等への招集に危険が伴っていたが、現在の庁舎等への市職員招集について市の考え方はどのようなか	
2 ごみ集積場所の管理等について	1 ごみ集積場所は、地域住民にとって必要不可欠なものであり、管理は町内会・自治会等に任されているのが現状である。現在、町内会・自治会加入者が減少している中、ごみ集積場所の管理や利用についての市の考え方について問う	(1) ごみ集積場所の設置基準はどのようなか。また、ごみ集積場所の管理に係る経費は誰が負担するのか (2) 町内会・自治会への未加入者はどのようにごみ集積場所を利用すればよいのか (3) 町内会・自治会加入者が減少している中、ごみ集積場所の設置や管理について、市としてどのように考えているのか	

<p>3 青色防犯パトロールの拡充について</p>	<p>1 青色防犯パトロールは、地域によっては自主的に実施しているところもあるが、車両の準備や警察の許可等手続きが多く、市内全域に広がっていないのが現状である。今後の市の拡充方策について問う</p>	<p>(1) 現在市内で青色防犯パトロール活動をしている団体はいくつあるか (2) 市は青色防犯パトロール活動について、その効果や課題をどのように認識しているか (3) 青色防犯パトロール活動が市内各地域で広がるような体制づくりが必要と考えるが、今後、具体的な支援等をどのように考えているのか</p>	
---------------------------	---	--	--

質 問 者	3 成 田 佳 勉 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 保育、教育現場における熱中症対策について	<p>1 近年の気候変動により年々、子ども達の熱中症リスクは高まる一方である。本市でも、保育や教育の現場において熱中症対策を行なってきていると思うが、今後徹底していく必要があることから、子ども達の熱中症対策について問う</p> <p>2 人的な熱中症に対する対策もさることながら、保育、教育現場においての物的な熱中症対策を行い、また自分たちでも熱中症のリスクについて意識をして活動できるようにするための具体策について問う</p>	<p>(1) 本市の保育園、小中学校における熱中症対策はどのようなか。また、今後の課題は何か</p> <p>(2) 保育士や教員が熱中症に対する正しい知識を身につけ、万が一の際に迅速かつ適切な対応を取るためのマニュアルや研修、訓練等の対策も必要と考えるがどうか</p> <p>(1) 保育園、小中学校において暑さ指数計を導入し、適切な屋外での活動も保障すべきと考えるがどうか</p> <p>(2) 熱中症対策としても有効なミスト散布が行える機器の導入状況、また活用状況はどのようなか</p> <p>(3) 万が一、熱中症が疑われる場合に速やかに体温を下げ、重度熱中症の後遺症等を防ぐ観点から、速やかに体温を下げられる道具としてアイスバスを常備してはどうか</p>	
2 児童福祉施設の連携について	<p>1 市内にも数箇所ある児童発達支援事業所だが、保護者の就労支援の側面は基本的に持っておらず、保護者の働き方によっては保育園に預けざるをえない現状もある。保育園と児童発達支援事業所が連携し、保護者や子ども達にとって必要な支援を行うための方策について問う</p>	<p>(1) 現在、本市の児童発達支援事業所と保育園において保護者や子ども達のために連携していることはあるか</p> <p>(2) 現状、保育園と児童発達支援事業所を併用して利用している事例もあり、その中のニーズとして事業所と保育園間の送迎も挙げられると思うが、市としてどのような課題を認識しているか</p> <p>(3) 働き方が多様化し、保護者や子ども達への支援の在り方も変化してきていると思うが、先の課題を踏まえて必要な支援や具体策についてどのように考えているか</p>	

<p>3 誰ひとり取り残さない学校現場について</p>	<p>1 全国的な不登校児童生徒の数は年々増加傾向にあり、本市においても例外ではない。不登校になる理由は様々あり、また、不登校児童生徒だけでなく学校には行けるが教室に入れない児童生徒もいる等、幅広い対策、支援策が必要と考えることから、本市の不登校対策について問う</p>	<p>(1) 他の自治体では、不登校特例校の設置をしている事例もあるが、本市ではどのような対策を取っているか。また、課題は何か (2) 教室に入れない児童生徒に対する支援策として、学校内に別室を設け学習できる環境を整える必要があると考えるがどうか</p>	
<p>4 新婚、子育て世帯の定住促進について</p>	<p>1 全国的に人口減少が進んでいる中で、本市においても直近3年は減少傾向となっているため、課題解決として新婚世帯、子育て世帯の定住促進が不可欠であると考えことから、その支援策について問う</p>	<p>(1) 現在、新婚、子育て世帯を対象とした転入や定住に繋がるために行っている施策はどのようなか (2) 新婚、子育て世帯を対象とした公的賃貸住宅制度の導入、また、賃貸住宅に入居する世帯の定住に向け、住宅を購入する際に補助を行う等の施策が有効であると考えがどうか</p>	
<p>5 都市公園の魅力や質の向上について</p>	<p>1 人口一人当たりの公園面積の広さは本市の魅力の一つであるが、多くの人に魅力を伝え公園の質を向上させることも必要だと考える。公園遊びの楽しみ方が分からない保護者の方に向けた情報発信や、天候に左右されず楽しめる公園づくり等、更なる公園の質の向上のための方策について問う</p>	<p>(1) 現在、都市公園の魅力発信、質の向上として行っていることは何か (2) 遊具や広場等に二次元コードを設置し読み取ることで、おすすめの遊び方や遊びがもたらす運動効果等の情報が得られるような魅力発信方法を考えてはどうか (3) 全天候型で子育て世代や低年齢の子ども達が利用できる屋内型の公園施設の設置も有効と考えるがどうか</p>	

<p>6 市民館における空調設備について</p>	<p>1 市民館は地域の繋がりや健康増進の側面から様々な方に利用されるが、7、8月の市民館の体育室の室温が高く、非常に危険な暑さとなっている。有事の際の避難所としての機能もあることから、子ども達から高齢者まで安心安全に利用するための設備について問う</p>	<p>(1) 利用者から施設設備についてどのような要望があがっているか (2) 市民館体育室の空調整備については、利用者の安心安全な活動場所の確保の面からも喫緊の課題であると考えますがどうか</p>	
--------------------------	--	--	--

質 問 者	4 井 上 正 人 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市営温水プール廃止後の対応について	1 現在、東海市と知多市において、健康増進施設の建設が進められている等の理由により、市営温水プールの廃止が予定されている。新しい健康増進施設は知多市内に建設されるため、交通の便が不便になる市民が多いと思われるが、市の考えを問う	(1) 市営温水プールで健康づくりをしていた人たちが引き続き健康づくりをできるような対策を考えているか (2) 知多市に建設される健康増進施設までの交通アクセスをどのように考えているか	
2 ランの道の魅力向上について	1 令和6年2月に台湾で開催される世界蘭会議において、愛知教育大学名誉教授の市橋正一先生が、東海市のランの道について研究発表されることとなったが、今後のランの道の魅力向上について、市の考えを問う	(1) 世界蘭会議において研究発表されることは、ランの道の魅力を世界にアピールできる折角の機会であるが、市としてどのようなサポートができるか (2) ランの道の魅力向上のため、和蘭の一種であるサギソウを育てることはできないか。また、育てたサギソウを展示する等、活用していく考えはあるか	

3 太田川駅西地区周辺の事業について	1 東海市初の業務代行方式により進められている東海太田川駅西土地地区画整理事業は、理事長はじめ組合役員により視察等を行い、懸命に事業を進めているが、今後の市の考え等を問う	(1) 太田川駅西地区に進出予定の事業者の業態と開業時期はどのようか (2) 太田川駅周辺土地地区画整理事業との連携はどのように考えているか	
	2 大田インターチェンジ（仮称）の整備は、東海太田川駅西土地地区画整理事業へ多大な事業効果があると考えますが、大田インターチェンジ（仮称）の進捗の現状について問う	(1) 大田インターチェンジ（仮称）の整備状況はどのようか (2) 大田インターチェンジ（仮称）の早期完成に向けた予算確保の取組はどのようか	
4 可家の湊跡の御洲浜公園について	1 万葉集にも詠われ、江戸時代には横須賀御殿の庭園でもあった歴史的価値のある可家の湊跡の公園整備について、市の考えを問う	(1) 可家の湊跡の公園整備計画の進め方について、どのように考えているか (2) 歴史的価値のある可家の湊跡について、ぜひこれを生かした公園整備が望まれるが、市の考えはどのようか	

質 問 者	5 工 藤 政 明 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 水を安定的に供給する取組について	1 平成6年は、春先からの少雨と梅雨期間中の降雨が少なかったこと等が重なり、西日本から東日本にかけての広い範囲で渇水が発生し、大きな社会問題が生じるとともに改めて水の重要性を考える機会となった。渇水対策及び節水の取組について、本市の状況と考えを問う	(1) 平成6年に発生した渇水において、本市の市民生活にどのような影響が生じたと捉えているのか (2) 平成6年以降に進められた渇水対策はどのような取組があるのか。また、平成6年と同程度の渇水が発生した場合の市民生活への影響をどのように考えているのか (3) 渇水が発生もしくは発生する恐れがある場合の節水はどのように進められるのか。また、節水に関する市民への理解及び啓発はどのように行われるのか	
	2 水道水を無駄なく有効に利用するとともに道路陥没等の二次被害を未然に防止する漏水防止対策について、本市の状況と考えを問う	(1) 現在、どの程度の漏水が発生していると考えているのか。また、令和元年度以降の道路陥没等の二次被害に及ぶ漏水の発生はどのような状況なのか (2) 埋設された配水管の漏水の調査及び防止対策はどのように進められているのか (3) 宅地部で発生する漏水の調査方法の啓発並びに注意喚起はどのように行われているのか	

	<p>3 デジタル化に伴う水道事業の効率化・合理化を進める中、水道使用量を検針員が現地を訪問せずに検針することが出来る水道スマートメータを導入する自治体が増えている。水道スマートメータの導入について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 水道スマートメータにはどのような特徴が備わっているのか。また、導入することによりどのような効果が期待できるのか</p> <p>(2) 近隣を含む他自治体における水道スマートメータ導入の状況及び計画をどのように把握しているのか</p> <p>(3) 本市に水道スマートメータを導入する必要性をどのように考えているのか。また、導入の課題やその解決策をどのように考えているのか</p>	
<p>2 迅速な救急救命に対応する取組について</p>	<p>1 火災の消火作業や震災をはじめとする広域的に被害が及ぶ災害への対応等、消防隊の支援活動が期待されている消防団の組織について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 消防団員が減少している理由をどのように捉えているのか。また、現在の9分団を構成し消防団活動を維持していくために必要な団員数をどのように考えているのか</p> <p>(2) これまでに地域を管轄区域としている分団に女性が入団もしくは入団を希望した実績はあるのか。また、分団詰所に女性用の更衣室やトイレを整備する必要性をどのように考えているのか</p> <p>(3) 市内全域を管轄区域としている女性分団にはどのような活動実績があり、今後どのような期待が寄せられているのか。また、男女を区別しない現在の社会的な考えを取り入れ名称等を変更する必要性をどのように考えているのか</p>	

	<p>2 令和5年7月1日から東京消防庁は東京都23区内等を対象に救急車の適時・適切な利用を強く訴えかける救急車逼迫アラートの運用を開始、7月10日には気温の上昇で熱中症の搬送者が急増する恐れがあるとして救急車逼迫アラートを発出した。救急車逼迫アラートをはじめとする救急車の適時・適切な利用を呼び掛ける取組について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 令和4年の救急車の事故種別出場は平成30年と比較しどのような状況なのか。また、救急車の出場要請はどのような時期や時間帯に集中しているのか</p> <p>(2) 東京消防庁が運用を開始した救急車逼迫アラートの定義及び目的並びに発出の方法や手段をどのように把握しているのか</p> <p>(3) 本市独自の救急車逼迫アラートを導入し、市民に救急車の適時・適切な利用を強く訴えかけるとともに体調管理を呼び掛ける必要性をどのように考えているのか</p>	
<p>3 選挙投票率の向上を図る取組について</p>	<p>1 平成15年に公職選挙法の一部が改正され、選挙期日前の選挙手続きの簡素化をはじめとする選挙人が投票しやすい制度として創設された期日前投票制度について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 制度が創設されて以降に執行された国政選挙における期日前投票の投票率の推移はどのような状況なのか</p> <p>(2) 期日前投票所を拡充する必要性をどのように考えているのか。また、拡充の課題やその解決策をどのように考えているのか</p>	
	<p>2 将来の有権者となる市内の小中学生や高校生に向けて開催されている選挙出前講座について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 選挙出前講座の開催目的及び内容はどのように定められているのか。また、対象年齢が小学生から高校生まで幅広い層になるが各々の講座にはどのような工夫が施されているのか</p> <p>(2) これまでの講座開催において、どのような効果があったと考えているのか</p>	

<p>4 交通事故を未然に防止する取組について</p>	<p>1 交通事故が集中して発生している幹線道路等の特定の区間に指定される事故危険区間について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 事故危険区間を指定する定義及び目的をどのように把握しているのか。また、誰がどのように指定するのか (2) 市内の指定状況をどのように把握しているのか (3) 事故危険区間が指定されることにより、自治体にはどのような影響があると考えているのか (4) 市内で交通事故が集中して発生している箇所を本市独自で危険区間に指定し、交通事故撲滅を図る取組を推進する必要性をどのように考えているのか</p>	
-----------------------------	---	--	--

質 問 者	6 井 上 純 一 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 認知症の人への支援について	1 先の通常国会で成立した通称認知症基本法は、「認知症の人は何もできない」といった考え方を転換し、「認知症になっても尊厳と希望をもって暮らせる」という人権重視の新しい認知症観を導く法律で、平成30年に日本認知症本人ワーキンググループが表明した、「認知症とともに生きる希望宣言」の普及を後押しするものである。そこで、本市の認知症の人が暮らしやすいまちづくりへの取組について問う	(1) 本人ミーティング等「認知症の人の意見を聴く」体制はどのようか (2) 本市の認知症の人の社会参画を促進する取組はどのようか (3) 「認知症とともに生きる希望宣言」を広く市民へ周知する取組や、「希望をかなえるヘルプカード」の利用を推進してはどうか	

<p>2 LGBT理解増進の取組について</p>	<p>1 令和5年6月に通称LGBT理解増進法が施行された。市民が性の多様性に関する理解を深め、無意識に相手を傷つけてしまう言動を行わず、共感し寄り添う人「A l l y（アライ）」となることで当事者の生きづらさを解消することにつながる本市の取組を問う</p>	<p>(1) 本市の性の多様性に関する理解を増進する取組はどのようなか</p>	
	<p>2 令和3年度より半田中学校では、性の多様性への理解を深める取組である、「レインボープロジェクト」を実施している。目指すゴールは、生徒が多様な性を理解し、多様性を尊重する心を養い、更には自己肯定感を高めることにある。そこで、本市の中学生が性の多様性への理解を深めるための取組について問う</p>	<p>(1) 本市でも半田中学校の「レインボープロジェクト」を参考に、多様な性を認め合う取組を検討してはどうか</p>	

<p>3 小中学生の自殺対策について</p>	<p>1 令和4年の小中高生の自殺者数は全国で514人と過去最多となったことを受け、政府は、令和5年6月にこどもの自殺対策緊急強化プランをまとめた。この強化プランでは、要因分析、自殺予防対策、相談体制強化に加えて、自殺リスクの早期発見のため、精神不調アセスメントツールの全国の学校での活用を目指す。そこで、今後の本市の取組について問う</p>	<p>(1) 「SOSの出し方に関する教育」の実施状況はどのようなか (2) 政府は子どものSOSをどのように受け止めるかを教員や保護者が学ぶ機会を設定するよう求めているが、本市はどのように取り組むのか (3) こどもの自殺対策緊急強化プランに基づき、精神不調アセスメントツールの導入を検討してはどうか</p>	
<p>4 地球温暖化対策の取組について</p>	<p>1 令和5年6月に実施した「東海市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(素案)」のパブリックコメントでは、市民のホームページへのアクセス数は多かったが、意見は2名9件しかなかったと聞いている。意見が少なかった状況を受け、市民の関心を高め具体的な行動につなげる後押しが必要と考える。そこで、本市の今後の取組について問う</p>	<p>(1) パブリックコメントの意見が少なかった状況をどのように考えているのか (2) 市民の地球温暖化に対する意識を高め具体的な行動につなげるための取組はどのようなか (3) 市民の地球温暖化対策を後押しするため、省エネ家電への買換えを補助する施策等を検討してはどうか</p>	

<p>5 市営温水プールの廃止後の市民対応について</p>	<p>1 令和5年5月に実施した「市営温水プールの廃止に関するパブリックコメント」では、69名178件の意見があり、8月にその意見に対する市の考え方が発表された。そこで、市民への対応について問う</p>	<p>(1) パブリックコメントの結果をどのように分析しているのか (2) 現在、市営温水プールを利用している市民へどのような配慮をするのか</p>	
-------------------------------	---	--	--

質 問 者	7 蓑手純一議員（公明党）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 屋内の子どもの遊び場の設置について	1 地球温暖化の影響が深刻化し、気温の変化や災害の激甚化等を通して多くの人が危機を実感している。なかでも気温の上昇により、外での水遊びやプール等の遊泳中においても熱中症による事例が近年増加しており、高温になる屋外での子どもの遊び場が危険になってきている。体を動かせるスペースとして、充実した遊具や玩具が整備された屋内の遊び場スポットの設置について問う	(1) 子育て支援センター、児童館における過去3年間の利用状況はどのようなか。また、利用者から遊具等の設備に関する要望をどのように聞いているか (2) 本市においても空きテナントや公共施設の空きスペースを利用して屋内の遊び場スポットを設置する考えはどのようなか	

<p>2 HPVワクチンキャッチアップ接種について</p>	<p>1 本市では令和3年度からHPVワクチンの積極的勧奨が再開され、合わせて積極的勧奨差し控えの影響を受けた世代に対してもキャッチアップ接種が開始された。将来の子宮頸がん罹患を減らすためには、この機会に接種を進める必要があると考える。キャッチアップ接種は令和6年度末まで、3年間の時限措置となっており、期間内に3回接種を完了するためには令和6年9月末までには1回目の接種を開始する必要がある。そこで、令和6年度に期限を迎えるキャッチアップ接種対象者への対応等について問う</p>	<p>(1) 本市のキャッチアップ接種対象者は何人か。また、キャッチアップ接種対象者の接種率の推移はどのようなか (2) 平成7年度生まれから平成10年度生まれの世代が接種率70%以上であったことを考えると、現在の接種率は相当低いと感じられるが、接種率の伸び悩みの原因をどのように分析しているのか (3) キャッチアップ接種の期間内の接種率を少しでも上げるため、対象者にキャッチアップ接種の最終期限をお知らせする個別通知を送付するとともに、あらゆる手段で接種に対する不安を払拭する啓発を行うべきと考えるが、本市の対応はどのようなか</p>	
-------------------------------	--	---	--

<p>3 骨粗しょう症検診の実施等について</p>	<p>1 政府は次期国民健康づくり計画「健康日本21（第三次）」を令和5年5月31日に発表しており、その中で、女性の健康に関する項目を新設し、人生の各段階における骨粗しょう症等の健康課題の解決を図ることが重要だとしている。加齢等により、骨密度が低下すると骨粗しょう症になり、骨折しやすくなることで、要介護状態に陥るリスクも高くなるため、予防や早期発見に有効な骨粗しょう症検診の実施が重要と思うが、本市として骨粗しょう症検診に対する取組について問う</p>	<p>(1) 愛知県内では6割の市が骨粗しょう症検診を行っているが、本市として骨粗しょう症検診の実施を含めた今後の取組はどのようなか</p>	
<p>4 ひきこもり支援の現状について</p>	<p>1 ひきこもり支援センターほっとプラザは、東海市ひきこもり支援事業コンソーシアムと契約をして2年6か月が経過するが、年々増加傾向にあるひきこもり、不登校問題等の課題解決に実績を上げている。本コンソーシアムに対する現状と今後の支援について問う</p>	<p>(1) ほっとプラザはひきこもり対策の実績を出していると考えますが、共同事業体としての本コンソーシアムに対する現状の評価と問題点はどのようなか。また、支援メニューはどのように展開されているか (2) 本市は本コンソーシアムとの契約をどのように捉えているか。また、ひきこもり等対策で実績を上げている本コンソーシアムとの契約を継続するべきと考えるがどうか</p>	

質 問 者	8 石 丸 喜久雄 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 音声コードの導入と活用について	<p>1 全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることのない社会の実現を目指し、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が令和4年5月に施行された。音声コード「Uni-Voice (ユニボイス)」は、視覚障害者に限らず、識字障害の方や小さな文字を読みづらい高齢者及び日本語を理解できない外国人等、幅広い方々の情報のバリアフリー水準を飛躍的に向上させることが期待できる。そこで、本市が送付する公的な通知文書や印刷物への導入の考えについて問う</p>	<p>(1) 視覚障害者宛てに送付する公的な通知文書において、情報を正確に伝えるための取組の現状はどうか</p> <p>(2) 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の施行により、本市ではどのような取組を実施しているか</p> <p>(3) 市民へ送付する公的な通知文書や広報等、印刷物に音声コードを記載するようにはどうか</p>	

<p>2 聚楽園公園ヤカン池の耐震診断について</p>	<p>1 聚楽園公園のヤカン池堤体の地震発生時における安全性を確認するため、令和4年度に耐震診断を実施した。その結果、地震動レベル1の震度5強程度に対する安全率は、基準値の1.2を超える1.5であったため、堤体の補強や改修は必要ないと判断したとしている。その耐震診断における問題点と対策について問う</p>	<p>(1) 東海市ハザードマップでの想定震度は震度6強としている。地震動レベル1の震度5強程度の耐震診断結果で耐震性能を満足していると判断して良いのか</p> <p>(2) ヤカン池の下流には住宅地、主要道路及び鉄道があり、堤体が決壊したときの影響は極めて大きい施設であることから、地震動レベル2の震度6強から震度7程度での耐震診断を実施し、安全性を再確認するべきではないか</p>	
<p>3 緑陽公園整備事業について</p>	<p>1 緑陽公園整備事業は、現在、事業認可区域内の整備を進めているが、令和3年度に事業認可期間を5年間延伸し、令和8年度末へと変更している。そのような中、事業認可区域外にある上大廻間住宅の住民を対象として、転居に向けての交渉を進めているが、住民から出ている要望及び課題について問う</p>	<p>(1) 事業認可区域外にある上大廻間住宅の住民を対象として、転居に向けた交渉を進めている理由と現在の進捗状況はどうか</p> <p>(2) 転居の対象となっている住民の多くは、公営住宅への入居を希望しているが、市営・県営住宅に公募の例外として優先入居させることは可能か</p> <p>(3) 補償金によって、所得税、市県民税、国民健康保険税及び生活保護受給者への影響はどのようになるか。また、そのことについてどのように説明しているか</p>	

<p>4 結婚新生活支援事業について</p>	<p>1 国は、結婚に伴う新生活のスタートアップに係る費用の補助を行う自治体を支援している。令和5年度から所得要件が緩和され、実施自治体は741市区町村にまで拡大しているが、本市では実施していない。東浦町では令和4年度、29組が補助を受け、そのうち21組が夫婦とも町外から転入しているという。結婚新生活支援事業の実施について、本市の見解を問う</p>	<p>(1) 本市では、国における地域少子化対策重点推進交付金を活用して、ライフデザインセミナーを実施しているが、その取組と成果はどうか</p> <p>(2) 結婚新生活支援事業は、結婚を機に本市に住んでもらうきっかけに繋がる事業の一つと考える。本市での事業実施についての見解はどうか</p> <p>(3) 本市が結婚新生活支援事業を実施する場合は、市独自で所得制限の撤廃や補助の増額等も検討してはどうか</p>	
<p>5 「書かない窓口」の導入について</p>	<p>1 全国の自治体で広がる「書かない窓口」について、本市における導入に向けた取組の現状と課題について問う</p>	<p>(1) 本市は「書かない窓口」の導入に向けて、調査及び検討はされているか</p> <p>(2) 本市が「書かない窓口」を導入する場合のメリットとデメリットはどうか。また、導入に向けての課題はどのようなものがあるか</p>	

質 問 者	9 加藤典子議員（日本共産党議員団）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 児童館の複合化・集約化について	<p>1 政府は、「異次元の子育て支援」として、子どもに力点を置く時代としており、また、令和5年3月の市長の施政方針でも、特別に児童館の重要性を示している。</p> <p>本市は、令和元年度に作成した東海市公共建築物再編計画において、地域密着型施設を複合化・集約化するとしているが、政府や市長の考えと矛盾するのではないか。また、そのことによって、子どもや乳幼児の居場所や遊び場が減っていくのではないかと危惧している。そこで、市の児童館の複合化・集約化についての考えを問う</p>	<p>(1) 令和5年4月より緑陽児童館を閉鎖し、新たに緑陽コミュニティセンターが開館しており、児童厚生員を置かない施設としてボルダリング施設とマットと児童図書コーナーはあるが、乳幼児を始めとする子どもの遊びのスペースが縮小されたことについて市の考えはどのようなか</p> <p>(2) 今後、施設の複合化・集約化の際は、児童館の機能が縮小されないようにすべきだと考えるが、市の考えはどのようなか</p>	

<p>2 国民健康保険の傷病手当等について</p>	<p>1 本市は、新型コロナウイルス感染症対策に限って、国民健康保険に加入している個人事業主にも傷病手当を支給した、全国でも数少ない自治体として、個人事業主から大変喜ばれた実績がある。国民健康保険に加入している人は、被用者保険の被保険者と比べ、傷病手当の支給において恩恵を受けられないデメリットがあるため、傷病手当等に対する本市の考えを問う</p>	<p>(1) 国民健康保険加入者は、病気やケガで療養が必要になり、休業しなければならなくなった際に、被用者保険の被保険者と同じように、傷病手当を受給できるようにすべきと考えるが、市の考えはどのようなか。また、休業見舞金のような一時金を支給する考えはあるか</p>	
---------------------------	--	---	--

<p>3 市営温水プールのあり方について</p>	<p>1 令和5年度末に市営温水プールが廃止される予定であるが、50メートルの温水プールは知多半島で唯一であり、それを目的で利用する人も多くいる。例えば、常滑市では有名なトライアスロンの大会が開催されていたこともあって、トライアスロンの愛好者も多く、市営温水プールに集まり練習していると聞いている。市内には競泳のトレーニングができる民間プールが3カ所あるが、それらは会員制のため利用者が制限される。そこで市営温水プールの廃止による不利益を利用者が被らないようにするための方策を問う</p>	<p>(1) 令和5年5月に行った市営温水プールの廃止についてのパブリックコメントでは、賛成意見と反対意見はどちらが多かったか (2) 反対意見はどのような内容のものがあったか (3) 市内北部在住者にとっては、知多市に建設される新健康増進施設に通うのはかなり距離が遠くなり、自家用車を自ら運転して通う高齢者や夕方に子どもの水泳教室で送迎する保護者等にとっては負担がかなり重くなるが、市の考えはどのようなか (4) 現在開催しているメタボ解消教室や小学生水泳教室等の各種教室は、市営温水プール廃止後は別の施設で開催されるのか (5) 50メートルの温水プールは知多半島唯一の貴重な施設で、競泳のトレーニングには欠かせないものであり、多くの需要があるなかで、廃止後に利用者が大きな不利益を被らないようにするために、どのような方策を考えているのか</p>	
--------------------------	--	---	--

<p>4 自衛隊への名簿の提供について</p>	<p>1 本市における自衛隊への名簿の提供については、令和元年以前は自衛隊が住民基本台帳の法令に従い、正当な手続きである閲覧をしてきたが、令和2年2月に防衛大臣から自衛官募集等の推進に関して、募集対象者情報の提出依頼がきたことにより、情報提供を行ってきた。各自治体で名簿の提供の仕方がさまざまであるため、自衛隊への名簿の提供について、市の考えを問う</p>	<p>(1) 本市はこれまでどのような方法で自衛隊へ名簿の提供を行ってきたか (2) 令和元年以前に自衛隊が行ってきた住民基本台帳の法令に定める平等な手続きである「閲覧」で対応させるべきではないか (3) 自衛隊への個人情報の提供を希望しない人については、市が名前を確認し、責任をもって名前を除外することが必要ではないか</p>	
-------------------------	--	--	--

質 問 者	10 坂 ゆかり 議 員 (日本共産党議員団)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 「ラーケーションの日」について	1 愛知県では、「学習（ラーニング）」と「休暇（バケーション）」を組み合わせた新しい学び方・休み方として「ラーケーションの日」をスタートさせ、令和5年度は年2日まで、令和6年度からは年3日まで取得することができる。実施により、教員や給食センターの職員等の負担増加や子どもたちの学習の遅れ等も懸念されるが、本市の考えについて問う	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和5年度の「ラーケーションの日」の実施期間及び保護者への周知はどのようなか (2) 「ラーケーションの日」を取得する際の、学校への連絡及び給食を欠食する場合の扱いはどのようなか (3) 愛知県のQ&Aには、「ラーケーションの日」を取得することができない日を設けることがあるとしているが、本市の対応はどのようなか。また、その理由はどのようなか (4) 教員や給食センターの職員等の負担増加が懸念されるが、本市の対応はどのようなか (5) 「ラーケーションの日」を取得できる家庭と取得できない家庭が生まれることについてどのように考えているか 	
2 インボイス制度について	1 令和5年10月からインボイス制度が始まるが、これまで課税売上高が1,000万円以下の免税事業者が、課税事業者との取引において、インボイス制度の登録を迫られる。現在、売上の規模が100万円に満たない個人事業主の方が増えていると思われる中で、インボイス制度に登録し、令和5年分からの消費税の申告を行う必要がある方が大幅に増えることが考えられるが、本市の対応等について問う	<ul style="list-style-type: none"> (1) 市が売手となる取引において、適格請求書（インボイス）の発行を求められた時の対応はどのようなか (2) 市が買手となる取引において、消費税課税事業者以外の事業者を取引から排除することはあるのか (3) インボイス制度の導入により、消費税申告を新たに行う必要がある方が大幅に増えることから、申告相談会場を半田市内以外にも増やすよう要望する考えはあるか 	

<p>3 パートナーシップ宣誓制度について</p>	<p>1 パートナーシップ宣誓制度を導入後、約半年が経過するが、今後の本市の取組と、本市が掲げる性別等にかかわらず、それぞれの個性を生かし、多様な生き方・働き方ができる社会を実現するための方策について問う</p>	<p>(1) 同時期に導入した半田市では、講演会やパネル展等が実施されているが、本市でも開催する考えはあるか。また、今後どのようなことを実施する計画か (2) パートナーシップ宣誓制度を推進していくために、人員の確保等の整備についての考えはどのようなか</p>	
<p>4 降下ばいじん対策について</p>	<p>1 現在、市内では、東海太田川駅西土地区画整理事業、加木屋中部土地区画整理事業及び社山北地区の民間開発と大規模な開発が進んでいる。また、最近、市内で住宅を購入した子育て世代の方からも降下ばいじんの多さに驚いているとの声を聞くが、子育て世代が住み続けたくなるまちづくりを目指すための方策について問う</p>	<p>(1) 太田川駅西地区では、現在、大規模な造成工事が行われているが、太田川駅周辺のマンションの住民から砂埃がひどいと苦情を聞いている。これから、北西の風が強まる時期になるが、どのような対策をとっていると把握しているか (2) 子育て世代が住んで後悔しない環境を整える責任が市にはあると考えるが、降下ばいじんの削減をどのように実現していくのか</p>	

質 問 者	11 村 瀬 進 治 議 員 (子どもたちに青い空)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 高横須賀町城山地区の道路照明について	1 長年にわたり設置を要求しているが、稲作への影響、高校生の通行者の増加等の理由により、当該地区に道路照明を設置していない。市は東海警察署から道路照明の設置要請はないと回答しているが、東海警察署からは設置要請していると聞いている。道路照明の設置は、通行車両の安全を図る目的としても喫緊の課題であると考ええる。道路照明の設置により、当該地区の交通上の課題解決を図る考えについて問う	(1) これまで同地区の道路照明について、東海警察署からの設置要請件数はどのようなか。また、設置要請を受けているにも関わらず、道路照明を設置しない理由は何か (2) 現時点で当該地区に道路照明を設置する考えはないとの回答を複数回にわたり受けているが、担当課所属職員の総意であるか。また、担当課所属職員の総意だとすれば、意向確認方法はどのようなか	

<p>2 投票所の指定について</p>	<p>1 投票率向上の観点から、投票に行きやすい投票所の指定は、非常に有効な手段であると考えていることから、以前より求めている中ノ池集会所を投票所に指定する考え等について問う</p>	<p>(1) 過去10年間における投票所の指定を見直した実績及びその理由はどのようなか (2) 現在の投票所指定について、市民から出されている意見はどのようなか。また、アンケート等により、市民の意向を調査する考えはあるか (3) 中ノ池集会所が投票所として不適切であると考えている理由は何か (4) これまでに選挙管理委員との面談を求めてきたが、応じない理由は何か。また、今後も応じる考えはないか (5) 誰もが立地的にも投票しやすい環境を望んでいると考えるが、新たな投票所指定に要する経費と市民の投票環境の向上のバランスをどのように考えているのか (6) 中ノ池地区の住民の大部分が、中ノ池地区内への投票所の指定を望んでいると考えるが、投票所の指定について住民の意思を調査し、反映する考えはどのようなか</p>	
<p>3 中学校体育館設置の空調機について</p>	<p>1 現在、進められている市内中学校体育館への空調機設置について、動力としてプロパンガス方式を採用した理由及び整備状況について問う</p>	<p>(1) プロパンガス方式を採用した理由は何か。また、プロパンガス方式と電気方式との費用対効果の比較状況はどのようなか (2) 現在進めている空調機の設置方法は、非常にコストがかかり、1校あたり約7,500万円が必要となるため、効果的ではないと考えるが、現在の設置方法を選択した理由は何か</p>	

<p>4 ごみ指定袋制度について</p>	<p>1 現在、西知多医療厚生組合において新たなクリーンセンターの建設が進められており、令和6年度からは本市及び知多市のごみが搬入されることとなるが、本市のごみ指定袋制度は今後も維持されると聞いている。しかし、ごみ袋種別間の交換ができない現行のごみ指定袋制度には課題があると考えことから、改善する考えについて問う</p>	<p>(1) 現在、実施しているごみ指定袋制度は、ごみ袋種別間の等量交換ができないという大きな課題を抱えているため、多くの市民が望んでいると考えるごみ袋種別間の等量交換を実施する考えはどのようなか</p>	
<p>5 降下ばいじん被害者の救済について</p>	<p>1 本市の南西部地域における降下ばいじん飛散量は、最も多かった年と比較し、5分の1程に減少している。しかし、現在も北西、西風時には飛散量が多くなるため、窓を閉め、エアコンを使用する頻度が増加することで家計への負担が重くなっていることから、降下ばいじん被害者への救済策実施の考えについて問う</p>	<p>(1) 市南西部地域に居住する降下ばいじん被害者に対し、降下ばいじんの主たる発生源と考えられる臨海部企業と連携し、救済策として支援金を支出する考えはどのようなか</p>	

6 すぐやる課の設置について	1 行政は、市民ニーズを的確に捉え、スピード感をもって行政課題の解決に取り組むことが必要であると考え、他自治体における設置事例もある、すぐやる課を再設置する考えについて問う	(1) 本市では、取り組むべき行政課題について、市民等から要請を受けた場合であっても、できない理由を先に考え、積極的に課題解決に取り組んでいない印象を受けるため、スピード感をもって行政課題の解決に取り組み、市民本位のまちづくりを実施するため、すぐやる課を再設置する考えはどのようなか	
7 防犯灯の設置について	1 市内には、私有地に防犯灯が設置されている場所が複数あるが、私有地に設置することとなった経緯及び費用負担等について問う	(1) 私有地への防犯灯の設置箇所数はどのようなか。また、どのような場合に私有地に防犯灯を設置することとなるのか (2) 私有地に防犯灯を設置した場合、土地所有者に対する費用負担はどのようなか	
8 児童館の駐車場整備について	1 市内には駐車場が整備されていない児童館もあり、利用しにくい状況にあるが、駐車場整備等の考えについて問う	(1) 児童館13館すべてに空調機が設置されたが、駐車場が整備されていない児童館はいくつあるのか。また、今後、駐車場を整備する等、対策を講じる考えはどのようなか	
9 公共施設のベンチ等の安全管理について	1 以前、勤労センター前の木製のベンチが破損しており、修理を依頼していたが、対応されておらず、危険な状況が続いているため、他の市内公共施設も含め、設置されているベンチ等の安全管理について問う	(1) 市内公共施設に設置されているベンチ等の安全管理はどのように実施されているのか。また、破損等が生じた場合の指定管理者への指導等、修繕対応はどのように行っているのか	